

令和6年度

病院勤務の医療従事者向け

認知症対応力向上研修



WEB開催
受講料無料

病院勤務の医師、看護師等の医療従事者に対し、認知症の人や家族を支えるために必要な基本知識や、医療と介護の連携の重要性、認知症ケアの原則等の知識について習得するための研修を実施することにより、病院での認知症の人の手術や処置等の適切な実施の確保を図ることを目的とします。

開催日

【第1回】令和6年10月24日（木）17：00～18：30 WEB開催

【第2回】令和7年1月16日（木）19：00～20：30 WEB開催

対象・定員

【対象者】三重県内の病院で勤務する医師、看護師等の医療従事者

【定員】100名（先着順）

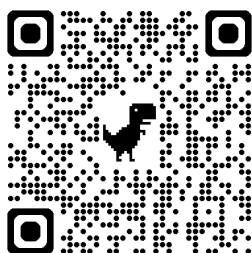
※参加の可否については、申込み締切日以降にメールと郵便にてご連絡します。

内容

別紙参照

申込方法

※申込〆切 第1回希望者：9月13日（金）
第2回希望者：11月8日（金）



↑第1回用QR

QRコードを読み取って頂き、フォームにご入力下さい。

※第1回の受講を希望される方は第1回用QRコード（左）から、第2回の受講を希望される方は第2回用QRコード（右）からお申し込み下さい。



↑第2回用QR

参加方法

※申込み締切日以降に、参加方法等のお知らせをメールと郵便にてご案内致します。

※当日は Zoom を使用しますので事前にアプリをダウンロードして下さい。

※必ず、1人1台の端末でご参加頂く必要があります。

※必ず、所属施設名と氏名を表示下さい。各自で確認・変更して頂きますようお願い致します。

所属施設名と氏名がない場合は受講扱いになりませんので、ご注意下さい。

※日本医師会生涯研修講座の単位申請をする方は、各受講者のログイン・ログアウト（出退）の記録を保存します。

WEB 研修終了後 30 分を経過すると受講者によるログアウト（退出）情報が記録されませんので、研修終了後 30 分以内に、確実にログアウトするようにお願い致します。

※日本医師会生涯教育講座 取得カリキュラムコード(CC)：29 (1.0 単位)

日本医師会生涯教育講座 取得カリキュラムコード(CC)：10 (0.5 単位)

※新型コロナウイルスの感染拡大の状況により、やむを得ず研修を中止する場合があります。

その場合は、当センターホームページにてお知らせします。受講決定者へはメールでの連絡を致します。

主催：三重大学医学部附属病院 基幹型認知症疾患医療センター

問合せ先：TEL 059-231-6027 E-mail: de-kenshu@med.mie-u.ac.jp

時間	内容		
【第1回】 17:00 ~18:30	【講義】講師 谷口彰 先生 (伊勢赤十字病院 脳神経内科 部長)		
【第2回】 19:00 ~20:30	1. 目的編	ねらい	認知症の人の視点で、認知症ケアに求められていることを理解する
		到達目標	1. 研修の目的を理解する 2. 認知症の人の視点で、対応への課題を理解する 3. 認知症の人を取り巻く施策等について理解する
		主な内容	・共生社会の実現を推進するための認知症基本法 ・認知症施策 ・本人の視点を重視したアプローチ ・入院する認知症の人に起こっていること ・一般病院の医療従事者に期待される役割
	2. 対応力編	ねらい	認知症を理解し、入院中の対応の基本を習得する
		到達目標	1. 認知症の特徴を理解する 2. 入院生活における認知症の人の行動の特徴を理解し、対応方法について習得する
		主な内容	・認知症の人の理解 ・認知症の病型、症状、経過 ・治療と非薬物療法 ・認知症に伴う行動・心理症状（BPSD）への対応 ・せん妄への対応・認知症ケアの基本 ・家族・介護者への支援 ・認知症の人の意思決定支援について
	3. 連携編	ねらい	院内・院外での多職種連携の意義を理解する
		到達目標	1. 多職種連携の意義とメリットを理解する 2. 院内・院外で多職種連携する必要性について理解する 3. 多職種で行うカンファレンスの要点を理解する
		主な内容	・連携の定義と展開過程 ・各医療従事者の院内連携上の役割 ・入院時・退院時カンファレンスで確認・検討すべき内容や課題 ・認知症の人を支える様々な仕組み



【お問合せ先】 三重大学医学部附属病院 基幹型認知症疾患医療センター

TEL 059-231-6027 E-mail: de-kenshu@med.mie-u.ac.jp